学校番号	４０１

平成３１年度　国語科

教科	国語	科目	国語総合（現代文）	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	精選　国語総合　改訂版　（三省堂）						
副教材等	・改訂増補版　最新国語便覧（浜島書店） ・論理的に考える　LT 現代文１（浜島書店） ・新版チャレンジ常用漢字（第一学習社）						

１ 担当者からのメッセージ

・社会に出ていく上で必要となる基礎的な国語の力をしっかりと身に付けましょう。
・様々なジャンルの文章を読み、論旨をしっかりとおさえるとともに、自分の考えや意見を持ち、明確に表現できるようにしていきましょう。
・予習として必ず本文を読み、文中の漢字や語句の意味でわからないところを調べておくようにしましょう。
・授業中は話をしっかり聞き、ノートをきちんととりましょう。積極的な態度で毎時間の授業に臨んでください。授業のあとは内容を必ず復習しておきましょう。
・定期考査は学習計画を立てて臨んでください。また、提出物の期限は必ず守りましょう。
・授業でわからない点があれば、そのままにせず、質問するなどしてその都度理解していきましょう。苦手をそのままにしておかないように。

２ 学習の到達目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を養成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	・行動の観察 ・記述の点検（ノート、授業プリント、週末課題等）	・行動の観察（発表、発言等の評価）	・記述の確認及び分析（ノート、授業プリント等）	・記述の確認及び分析 ・定期考査	・行動の観察 ・記述の確認（ノート、授業プリント、週末課題等） ・定期考査 ・小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	随想の内容を理解する	教材 「ぐうぜん、うたがう、読書のススメ」	○	◎			○	a:筆者の体験談について関心を持ち、自分の経験と比較して考察していくことができる。 b:自分の体験談を他者に紹介することができる。 e:話すこと・聞くことに必要な文の組立てについて理解している。	a、b:行動の観察と確認 e:小テスト 定期考査
	評論の内容を理解するⅠ	教材 「水の東西」	○			◎	○	a:文章中の語句や表現に注目し、筆者の考えを正確に読み取ろうとしている。 d:考えの進め方や、文章の筋道を的確にとらえ、論旨をつかむことができている。 e:論説文の構造や展開について正しく理解している。	a:行動の観察と確認 d: 行動の観察及び記述の点検 e:小テスト 定期考査
	小説の内容を理解するⅠ	教材 「羅生門」	○			◎	○	a:作品を読み味わい、登場人物の心情や行動を読み取り、人間に対する洞察力を深めようとしている。 d:文章中の表現から、登場人物の心情や行動を読み取ることができている。 e:近代文学についての知識・理解を深めることができている。	a:行動の観察と確認 d:行動の観察及び記述の点検 e:小テスト 定期考査
2学期	詩	教材 「サーカス」 「崖」	○			◎	○	a:詩の表現について理解を深め、そこに込められた作者の感情を読み取り、味わおうとしている。 d:詩の表現から作者の感情を読み取ることができている。 e:表現技法や構成についての知識・理解を深めることができている。	a:行動の観察と確認 d:行動の観察及び記述の点検 e:小テスト 定期考査
	評論の内容を理解するⅡ	教材 「言語は色眼鏡である」 「『もの』の科学から『こと』の科学へ」	○		◎		○	a:異なる文化や考え方を理解し、そこから新しい知見を得て、自身の考え方について再考察しようとしている。 c:筆者の考えを正確に読み取り、まとめることができている。 e:文章中の語句や表現の特色について理解している。	a:行動の観察と確認 c: 行動の観察及び記述の点検 e:小テスト 定期考査

	小説の内容を理解するⅡ	教材 「青が消える」	○	◎			○	a:表現上の特色を正確に読み取り、筆者が伝えようとする小説の世界観を理解しようとしている。 b:自分が読み取った小説の世界観をまとめ、説明することができる。 e:レトリックの効果について理解することができている。	a、b: 行動の観察と確認 e:小テスト 定期考査
	評論の内容を理解するⅢ	教材 「コインは円形か」	○	◎			○	a:多様な考え方について理解し、様々なものの見方について考察を深めようとしている。 b:自己の考え方と他者の考え方を比較し、まとめていくことができる。 e:文中で使用されている語句について、正しい意味をおさえることができている。	a、b: 行動の観察と確認 e:小テスト 定期考査
3学期	短歌・俳句	教材 「その子二十―短歌十六首」 「いくたびも―俳句十六句」	○		◎		○	a:短歌や俳句の表現上の特色について理解し、歌や句にこめられた作者の思いを詠み味わおうとしている。 c:表現技法を使って、自分の思いを歌や句で表現することができる。 e: 短歌や俳句の鑑賞方法を学び、身につけることができている。	a: 行動の観察と確認 c:行動の観察及び記述の点検 e:小テスト 定期考査
	小説の内容を理解するⅢ	教材 「清兵衛と瓢箪」	○			◎	○	a:小説の流れをおさえながら、登場人物の行動や心情の移り変わりを読み取り、自分のことに引きつけて物語を味わおうとしている。 d:情景描写や心理描写から、登場人物の心情を読み取ることができている。 e:文体や表現の特徴、効果を指摘することができる。	a: 行動の観察と確認 d:行動の観察及び記述の点検 e:小テスト 定期考査
	評論の内容を理解するⅣ	教材 「命は誰のものなのか」	○		◎		○	a:安楽死などの現代社会における問題について関心を持ち、深く考えようとしている。 c:「命はその人個人のものであろうか？」という筆者の問いかけに対し、自分なりの意見を持ち、まとめることができる。 e:論理的な文章のまとめ方について理解している。	a: 行動の観察と確認 c:行動の観察及び記述の点検 e:小テスト 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて〇印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。